

実用化事例

ドット柄模様の帯の製品化

【相手先企業】

縞屋

【開発の背景】

結城産地の織物は、平織組織で織物の柄は緋染色で表現されるのが一般的ですが、今回は従来の産地規格とは異なる織物組織で柄を表現した帯地を開発したいとの相談があり、製品化支援をおこないました。



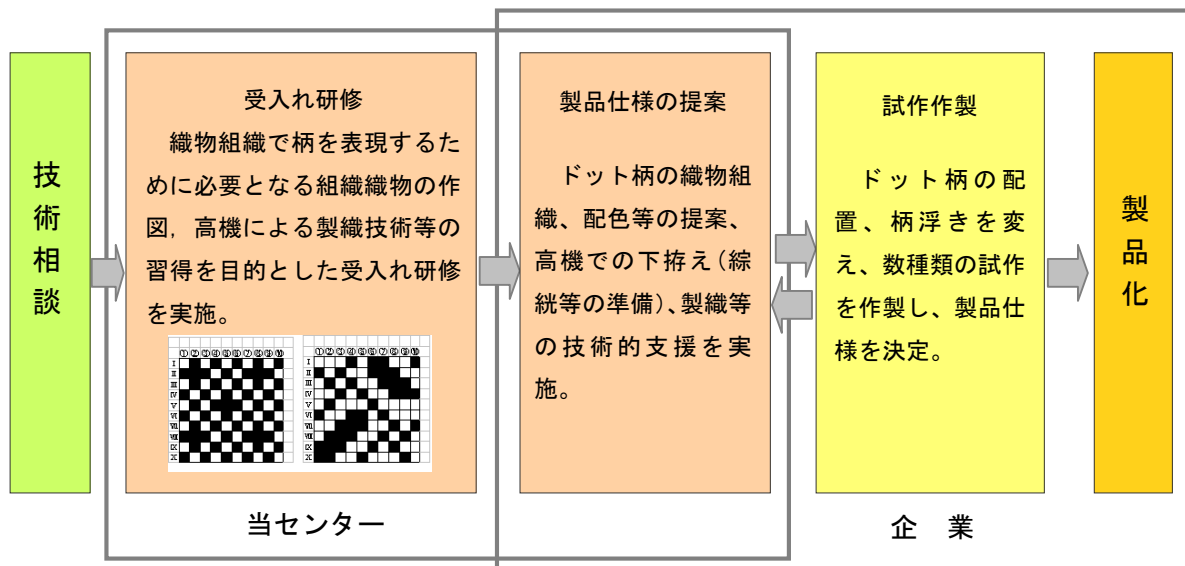
緋染色による柄表現



織物組織による柄表現

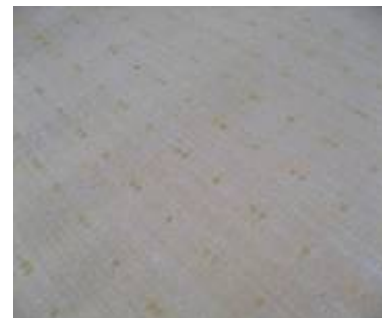
【支援内容】

製品化されるまでの当センターの支援内容、企業との役割分担は下記のとおりです。



【製品の紹介】

ドットの配置、配色などを変えた帯地を「tumugi-dots」としてシリーズ展開しており、展示会などでの販売でも大変好評を得ています。



基礎となった事業

平成 22 年度 試験研究指導所（技術相談、受入れ研修）

現在の担当部門

紬技術部門

部門長 篠塚 雅子
主任 中野 睦子

tel : 0296-33-4154